



加藤 克之 議員  
やとみ志政会

# 問 防災訓練1年間の成果は

# 答 反省点を活かしていく



▲リエゾン連携訓練

**問** リエゾン連携訓練の成果は。

**答** (総務部長) 災害対策本部の対応の円滑化及び防災関係機関との連携を図れた。効果は。

**問** 4市町村の元自衛官が、本市の訓練内容を各市町村に持ち帰ることで、海部地区全体の防災対策向上に繋がる。

**問** 継続する考えは。

**答** 課題等を改善し今後も継続していく。

**問** 「弾道ミサイルを想定した住民避難訓練」内容は。

**答** 国の内閣官房及び消防庁と愛知県と本市が主催の住民避難訓練を、9月10日に実施し約70人が参加。

**問** 各関係機関の協力は。

**答** 国と自治体との合同による、弾道ミサイルを想定した住民避難訓練は、県内初の実施。

**問** 地域住民の反応や感想は。

**答** 訓練後のアンケートで、約86%が有意義と回答。

**問** 次年度以降の実施予定は。

**答** 具体的な地区は決まっていないが、今後も実施予定。



▶ 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練

<b>問</b>	防災訓練からの備えを万全に
<b>答</b>	反省を活かし連携強化を図る

**問** Jアラートの訓練は、年何回実施しているか。

**答** (総務部長) 内閣官房及び消防庁が年4回、消防庁と気象庁が年2回の計6回。

**問** 自主防災組織補助金で、最近どのような資機材に補助したか。

**答** 災害用移動炊飯器、非常用電源装置、ソーラーパネル、緊急用浄水装置など。

**問** 災害協定締結は、近年はどのような協定締結したのか。

**答** 佐川急便(株)と「支援物資の受入及び配送等に関する協定」、(株)ニ愛と「建築副資材製品の供給に関する協定」、弥富市商工会と「キッチンカーによる物資の供給等に関する協定」の3協定。

**問** 今年度の防災ワークショップの効果は。

**答** 避難所運営を行うには、様々な形態があり、施設全体のレイアウトの難しさや解決方法など、参加者が共有できたこと。

**問** 市民の反応や捉え方は。

**答** 終了後のアンケートで78%が「満足した」と回答。

**問** 市長の見解は。

**答** (市長) 災害対策本部の対応は、防災機関との連絡調整が大変重要で、訓練を通じて顔の見える関係や連携強化を図ることができ、大変有意義であった。



▲防災ワークショップ (大藤・栄南地区)